

《中央・宮赤地区町政懇談会》

年月日 令和 8 年 9 月 25 日(金)

時 間 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分

場 所 川俣町役場庁舎 3 階 大会議室・農業委員会室

町民出席者数 10 名

- ① 開会：副町長
- ② 町長あいさつ：(内容省略)
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談
講義「地域の防災を考える」福島県災害対策課
令和 8 年度町政懇談会事前質問に対する回答
- ⑤ 閉会：教育長

○講義「地域の防災を考える」に対する質疑応答 ※講義資料は別紙

質問 1 資料 10 ページに記載のある、共助における避難所の運営とは、具体的にどのようなことをすれば良いのか。災害時にそういう余裕はないと思うが。

【福島県災害対策課】

回答 1 例えば避難所において、どのようにスペースを区切るか、どこに何をどう配置するかを検討や、避難所内の環境改善、治安の維持といった運営にご協力いただくことを想定している。事前の訓練も共助になる。

【町長】

回答 1 災害時は余裕がないからこそ、平時に地域で話し合っておくこと、地域コミュニティの構築が重要。

○事前質問に対する回答、その他意見交換 ※事前質問と回答は別紙

質問 1 中央公園について、小手姫がどこからでも見えるよう、桜の木を伐採することや、高齢者でも登れるよう、車の乗り入れができるように整備してほしい。

【町長】

回答 1 小手姫像が見えるようにするには、かなりの数の桜の木を伐採しなければならなくなる。春には綺麗な花を咲かせるため、それを楽しんでもらいたい。草刈りや木の剪定は、毎年行っている。小手姫像にかかっていた木は整備した。車の乗り入れ

については、音楽イベントができる場所や日本庭園を整備しており、歩いて登っていただくことを想定して整備しているため、ご理解いただきたい。

質問２ 県立美術館で行われていたゴッホ展に、川俣町の生徒は行ったのか。

【教育長】

回答２ 各家庭で行ったという話は聞いている。来年９月に第２弾のゴッホ展があると聞いているため、できるだけ子供たちに見る機会を得られるような配慮はしていきたい。教育委員会からも各学校の方には早めにお知らせして、移動の方法などを支援できるようにしていきたい。

質問３ 以前、現在の財政課長が生涯学習課長であったころに話したことがあったが、川俣の昔の慣習に関する助言について、後任に引き継ぎしたのか。

【財政課長】

回答３ 引き継ぎはしている。時間があるときに改めて話を聞かせてもらいたい。

質問４ 議会中継をインターネットで視聴しているが、聴覚障害がある人でも分かるよう、字幕を出すことは可能か。

【町長】

回答４ 今後検討していく。

意見１ 国勢調査から、町の人口が出たが、１０年前と比較して３，０００人以上減少している。１０年前の議会の議員定数が１２人で、現在も変わらず１２人。議員報酬金額を調べたところ、川俣町は県内で一番高い。議員定数の見直しをした方が良いのではないかと考えている。意見であるため、回答は不要。

質問５ 川俣にある河川の堆砂除却について、県とどのように協議しているのか。

【建設水道課長】

回答 5 毎年要望いただいております、今年は常泉寺前の箇所、土砂撤去を行う予定。渇水期に行うため、これからの発注になる。また、高根川の仁井町から上流側の土砂撤去も予定している。現在の河川は昔と比較して、土砂が流されて水位が低くなっている。本来、河川の護岸擁壁は1メートル以上埋まってなくてはいけないが、護岸の一番下の部分が見えてしまっている箇所もある。擁壁の一番下が見えるということは、その下を水が流れれば、道路の下、土が流出し、崩落して穴が開くということが発生する可能性がある。この点については、県に広瀬川を横断的な測量を依頼している。また、川俣中学校前の田代川が一番溢れやすいこともあり、土砂撤去と改修についても要望している。

質問 6 川俣町の出生数が減っている原因は、産婦人科や小児科が町内に無いことも影響しているのでは。

【町長】

回答 6 まず結婚が少なくなっている。これは川俣だけではない。また、医者の確保には取り組んでいるが、医者の数自体が減っていることもあり、医者と呼ぶことはなかなか難しい。

質問 7 済生会川俣病院へ補助金を町単独費用で支出しているが、病院に対して要望等は行っているか。

【町長】

回答 7 夜間の受け入れを断らないよう要望している。

質問 8 中央自治会事前質問 2 について、歩道の傾斜がやはり危険である。高齢者が買い物して帰る時の様子を見ると、バランスを取るのが大変そうな人もいます。段差ができてしまうから傾斜をつけたとのことだが、傾斜をつけて整備する地区と、段差をつけて整備する地区に分けて、どちらの評判がどうかを聞く方法もあると思う。

【町長】

回答 8 この場所は、もともと側溝があったところに歩道を整備しているため、民地側か道路側のどちらかに段差ができてしまう。十分に検討を重ねた結果の工事である。

【建設水道課長】

回答 8 この工事は、個人の宅地と歩道に段差ができていて転倒する危険があるため、それを解消するために始まったもの。勾配を抑えたいということで、宅地側の高さ、車道の高さを十分考慮しながらやっている。今後、民地側の方とも相談しながら進めていきたい。

質問 9 議案と決算資料の閲覧について、以前閲覧できないと言われたが、現在はどうか。

【町長】

回答 9 閲覧可能である。